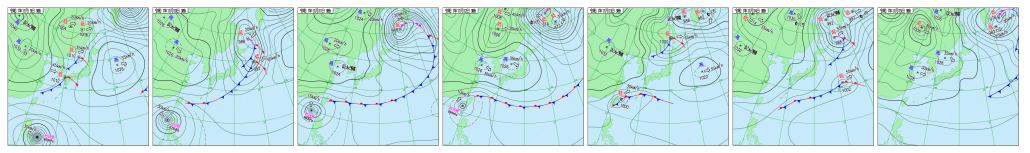
# ■天気図(11月9日~11月15日 ※毎日午前9時を掲載)



## 【今期間の天候について】

### ■気圧配置の特徴

9日、前線を伴った低気圧が日本海を北東進、別 の前線を伴った低気圧が九州北部から本州南岸を東 進。台風26号はフィリピン付近を通過。10日、前 線を伴った二つの低気圧がオホーツク海、日本の東 を進み、本州付近は冬型の気圧配置を形成。前線が 日本の東から南西諸島付近に停滞。11 日、本州付 近は引き続き冬型の気圧配置、日本の東から台湾付 近にかけて前線が停滞。台風26号は南シナ海を北 上。12日、本州付近は高気圧優勢となり、冬型の 気圧配置は緩んだ。南西諸島は前線が停滞し、台風 26 号はバシー海峡付近を北東進。13 日、台風 26 号 は温帯低気圧化、前線と一体化し、東シナ海を北東 進。前線を伴った低気圧がサハリン付近を通過。14 日、前線を伴った低気圧がオホーツク海を進み、日 本の南~東海上を前線上の低気圧が東進。本州付近 は一時的に冬型の気圧配置を形成したが、15日は 高気圧優勢となり、冬型の気圧配置は緩んだ。

#### ■降水

9日、本州付近を発達しながら進む二つの低気圧 の影響で雨の範囲が広がった。伊豆諸島では夜、三 宅島で39.5mm/hの激しい雨を観測。10日、冬型の 気圧配置が強まり、北日本から北陸の日本海側の地 域を中心に雨や雪。青森県酸ヶ湯では3時間降雪量 10cm を記録。11 日、台風 26 号からの湿った空気、 前線の影響で、沖縄県国頭村東部付近で1時間雨量 約110mmの猛烈な雨が降ったとみられ、記録的短時 間大雨情報発表。釧路、青森で初雪を観測。12 日、沖縄付近では台風周辺の湿った空気の影響が続 き雨。沖縄県久米島で47.0mm/hの激しい雨を観 測。13 日、台風 26 号から変わった温帯低気圧の影 響で九州南部、沖縄で広く雨。久米島の72時間降 水量は416.5mm に達し、11月の1位の値を更新。 14日、冬型の気圧配置となったことで北日本から 山陰の日本海側で雨や雪。15日、冬型の気圧配置 は緩み、島根県隠岐郡海士、八丈島で雨が降った 他、本州付近で目立った降水はほとんど無し。

### ■気温

9日、冷たい雨の影響で東日本は気温が上がら ず。東京都心の最高気温は、未明に観測された 13.7℃。一方、那覇市と宮古島では、今月はじめて の真夏日を記録。10日、寒気の南下により、北日 本では前日より気温低下。関東付近は日差しが届 き、東京都心の最高気温は、前日より7℃近く高い 20.7℃。11日、寒気の影響で北日本日本海側、オ ホーツク海側で冬の寒さとなり、北海道遠軽町白 滝、夕張市、青森県酸ヶ湯で真冬日。12日、放射 冷却に伴う朝の冷え込みが厳しく、東京都心では朝 の最低気温が 8.1℃。久米島では最高気温が 30.0℃ となり、最も遅い真夏日。13日、那覇市では暖か い空気の影響で過去2番目に遅い真夏日を記録。東 日本は北寄りの冷たい風により気温低下。14日、 高気圧に覆われた西日本、東日本は10月並みの気 温に。北日本は寒気の影響で冷え込み、札幌の最高 気温は6.0℃。15日、西日本、東日本は穏やかな晴 天で気温上昇。北日本は寒さが続いた。

## ■今期間(11月9日~11月15日)の天候のまとめ

平均気温は、冬型の気圧配置に伴って上空の強い寒気が南下した影響で、北日本では北海道を中心に真冬の寒さとなり、網走などで平年を1℃近く下回った所があった。一方で、沖縄・奄美、九州では台風や低気圧からの暖かい空気の影響を受けやすく、平年よりも気温が高い傾向となった。

降水量は、台風 26 号や前線の影響を受けた沖縄・奄美では記録的な大雨となり、期間総降水量は平年を大きく上回った。一方本州付近は周期的な天気変化となったものの、北日本太平洋側は特に低気圧や前線の影響を受けにくかったため、平年を大きく下回る降水量となった。

日照時間は、低気圧や前線の影響を受けにくかった北日本太平洋側で平年よりも多く、低気圧や前線の影響を受けやすかった北海道日本海側、九州南部や沖縄・ 奄美で平年を下回る傾向となった。東日本、西日本は平年並みか、平年をやや下回る所が多かった。

